

『共生・協働』でまちづくり vol.26

『共生・協働』とは、自治会やNPO法人・ボランティア団体・企業等多様な主体(パートナー)と行政が相互の理解と信頼のもと、目的を共有し、連携・協力して地域の公共的な問題の解決を目指すことです。

曾於市内でも「共生・協働の地域社会づくり」を進めていますが、市民の皆さんにも理解を深めていただくため、地域づくりやボランティアに意欲的に取り組む団体の活動等を紹介します。

「信仰の深さと奉仕の精神」で地域づくり

～得意の分野で活躍～ にいぼる 新原自治会 (末吉町深川)



新原自治会は末吉町の高之峰の裾野に広がる自治会で、国道10号が集落の中央を通っています。古くから信仰心の厚い地域で、自治会内には一向宗の禁制で殉教死した、徳牟礼門直右衛門(とくむれかどなおえもん)の法難記念碑(写真下右)が建設されています。今でも、自治会の方々は信仰心が厚く、お経を詠まれる方も多く、女性だけの観音講の習慣も残っています。

観音堂の鳥居改修

今年6月から7月にかけて、自治会の観音堂の鳥居の改修を行いました。丸太の皮はぎ、切込み、組み立て、設置と全ての作業を自治会員で行い、立派な鳥居が完成しました。今後、数十年は耐えられると皆の自信作です。

今回、作業の中心になっていただいたのは、自治会員の永田與一さんです。永田さんは地元で建築業を営んでおり、仕事の合間をぬって、材木選びから、切込み、設置までリードしてもらいました。作業の中では、ユニック車を所有している人、建設会社に勤め工事に詳しい人、木工業を営み木の加工にたけている人、また、体力に自信のある人、時間を惜しまず材料の買出しにあたる人、様々な得意分野の方が集まり、それぞれの経験と奉仕

の精神で作業にあたってくださいました。毎年行う観音堂の六月灯も今年は、新しい鳥居の下で特に盛大に開催されました。

地元のシンボル高之峰

高之峰は、公園(コケキャンチ高之峰)が整備され、都城盆地を眺望できる憩いのスポットになっています。地元では古くから親しみを込めて「丘」の愛称で呼んでいます。新原自治会内には高之峰へつながる道路があり、道路清掃は重機を利用するなど入念な作業を行います。また、頂上には高之峰神社があり、大晦日から正月三が日は周辺の自治会ともに新原自治会員も運営に当たります。高之峰はその眺めのよさから初詣に訪れる方も多く、大変賑わいます。

住民それぞれが、それぞれの得意分野を活かして地域づくりに参加しています。自治会という小さな単位ですが、これからも曾於市の共生・協働のまちづくりの一端を担っていこうと思っています。



直右衛門は、福山まで広がる仏飯講の総代であった。